

Green Brave

#52 Green Brave GR Supra GT



Round.7

AUTOPOLIS GT 3HOURS RACE

2025 年 10 月 18 日 (土) ~19 日 (日) オートポリス (大分県日田市)

■ 抜けないレースに苦戦するも粘り強く戦い 7 位入賞 ■

土曜日 (予選日) の天候は曇り。9 時 25 分から公式練習が行われ、野中選手がコースイン。すぐにタイヤ交換を行い、約 25 分走行します。9 時 50 分頃から吉田選手に交代。赤旗中断を挟み、再び野中選手がコースに入ります。その後、何度もピットインを繰り返し、10 時 48 分頃から吉田選手が担当。GT300 専有時の前に新品タイヤに交換し、予選シミュレーションを行います。ベストタイムは 38 周目にマークした 1 分 44 秒 890 で、順位は 5 位です。ノックアウト予選 (Q1) は野中選手が A 組に出場。予選開始直前に雨が降り出しましたが、ほぼ止んでいます。野中選手はドライタイヤでコースイン。濡れた路面の中、5 周目に 1 分 45 秒 107 をマークし、7 位につけました。Q2 は約 1 時間後に行われ、吉田選手が出場。雨は若干降っていますが、ドライタイヤを選択。吉田選手は 4 周目に 1 分 45 秒 515 をマーク。続けてアタックを行うも、タイムを更新できず。最終結果は 8 位となりました。



決勝結果 (GT300 クラス)

#52 Green Brave GR Supra GT
(吉田広樹/野中誠太)

決勝: 7 位 (94 周、3 時間 01 分 25 秒 870)

予選: 8 位 (Q2: 1 分 45 秒 515)

日曜日 (決勝日) の天候は曇り。3 時間の決勝では 2 回の給油を伴うピットストップが義務付けられているため、チームはスタートドライバーに野中選手を起用。吉田選手に 2 回目のピットストップを含む、ダブルスティントを託します。野中選手は 8 位をキープして 1 周目を終了。#666 ポルシェを追いますが、抜けない展開が続く、10 周過ぎから 2 台の差は拡大します。21 周目、#56GT-R に抜かれて 9 位に後退。この頃からライバルが 1 回目のピットインを行いますが、野中選手は走行を継続し、25 周目に 6 位、30 周目には 3 位まで上がります。31 周目の終わりに野中選手もピットイン。吉田選手に交代し、店舗メカニックが給油とタイヤ 4 本交換をノーミスで終えコースへ。コースに復帰した吉田選手の順位は 13 位です。

吉田選手は予選 7 位の #6 フェラーリを追いますが、序盤と同じ抜けない展開が続きます。38 周目、上位 2 台のピットインにより 11 位へ。42 周目には序盤に争った #666 ポルシェに抜かれ、12 位に後退します。44 周目から再び #6 フェラーリを追う展開となり、抜けないまま 1 時間半が経過。47 周目、上位のピットインにより 10 位へ。54 周目、GT300 車両がコース上にストップし、2 回目のピットインを行うライバルが現れますが、吉田選手は #6 フェラーリの背後で走行を継続します。55 周目に 9 位、57 周目には 8 位へ浮上。そして 58 周目ついに #6 フェラーリを抜きます。上位のピットインもあり、吉田選手の順位は 6 位。その後も上位のピットインは続き、64 周目、4 位に上がったところでピットイン。給油とタイヤ 4 本交換を行い、ピットアウトします。

コースに復帰した吉田選手の順位は 15 位。レースは残り 1 時間弱です。吉田選手は 69 周目に #31 レクサス LC を抜くと、上位のピットインもあり翌周には 10 位へ。前は #26 レクサス RCF となり、2 台による接近戦が続きます。残り時間 30 分をきった 80 周目、ついに #26 レクサス RCF をパス。吉田選手は一気にペースを上げ、上位を追いかけます。85 周目、上位のペナルティにより、8 位に上がると、残り 5 分をきった 91 周目には #87 をパス。95 周目に 7 位でチェッカーを受けました。今回の結果により、チームランキングは 6 位に上昇しています。

■■■ DRIVERS VOICE ■■■



吉田広樹 選手

予選後：コンディショニング的にすごく難しい状況でした。スペースを作るのも難しく、走り出しのウォームアップが悪かったので大丈夫かなと思っていました。ドライタイヤで走り続けたことは悪くなく、自分たちのペースの上がり方が思ったより良かったです。どんどん上がっていく中で、一番タイムを出したい最終ラップで他のチームに引かかってしまいました。半分ぐらいは引かなかった状態で走ることになったので、ちょっともったいなかったと思います。ベストを尽くせればと思います。

決勝後：事前に立てたレースプランが、いろいろな事情で難しいということになり、作戦の幅が狭くなってしまいました。誠太からの情報で予想はしていたのですが、良いパフォーマンスで走れる時間がすごく短くて。苦しい状況が続く中、どうにかチャンスを見出したいと思っていました。給油装置の性能調整により、ラップタイムの差があるクルマが前に出てきて、それに追いついて勝負を仕掛けるのですが、彼らとは速いところと遅いところが違います。仕掛けることができない状態が長く続き、自分のタイヤのパフォーマンスも落ちてしまいました。本当にもったいないと思ったのですが、性能調整の部分もあるので、仕方ないと思っています。



野中誠太 選手

予選後：予選の直前に雨が降り、ドライアップしていく展開でした。アウトラップでドライラインは意外とあったのですが、少し濡れているところもあったので、タイヤが温まるのに時間がかかりました。熱が入ってからはグリップ感が得られたのですが、他社のタイヤとアタックするタイミングが異なり、譲っている間に路面のゴミを拾ってしまいました。アタックラップ中はグリップが少し足りない状態でした。明日のレースは長く、作戦で大きく順位が変わるので、タイヤマネジメントが重要になると思います。

決勝後：スタート後、割と落ち着いた展開で、予選順位と同じところを走っていました。前のボルシェとは近い距離でずっと走っていたのですが、速いところとそうでないところがまったく違いますし、タイヤのピックアップを拾ったことで、グリップダウンしていました。淡々と走っていく展開でしたが、落ち着いて走っていましたし、とにかくミスがないように集中していました。ピットインのタイミングは予想通りの周回数でした。今までのオートポリスでのパフォーマンスを考えるともっと前にいけるかなと思っていましたが、そうはなりません。GTA GT300 勢には苦しい展開でしたが、7位というのは最低限の結果だと思います。

GT300 決勝結果

順位	車番	車名(車両)	周回数
1位	666	seven×seven PORSCHE GT3R (ボルシェ 911 GT3R)	95 周
2位	7	CARGUY FERRARI 296 GT3 (フェラーリ 296 GT3)	95 周
3位	0	VENTENY Lamborghini GT3 (ランボルギーニ ウラカン GT3)	95 周
4位	56	リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R (日産 GT-R NISMO GT3)	95 周
5位	6	UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI (フェラーリ 296 GT3)	95 周
6位	65	LEON PYRAMID AMG (メルセデス AMG GT3)	94 周
7位	52	Green Brave GR Supra GT (トヨタ GR Supra)	94 周

天候：曇 路面：ドライ トップ7まで(出走26台)

GT300 チームランキング

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	4	GOODSMILE RACING & Team UKYO	102.5
2位	65	K2 R&D LEON RACING	99
3位	56	KONDO RACING	98.5
4位	7	CARGUY MKS RACING	89.5
5位	666	seven×seven Racing	79.5
6位	52	埼玉 Green Brave	75.5

トップ6まで

■■■■■ PARTNERS ■■■■■



Driving Mobile Media Innovation

アルパインマーケティング株式会社



株式会社アルシェ



株式会社 FM NACK5



小倉クラッチ株式会社



株式会社カーグラス・JP



株式会社カロッツェリアジャパン



埼玉群スリーボンド株式会社



株式会社セーフティライフ



大和ラヂエーター工業株式会社



株式会社 TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY



ティーズ・ワークス



東京麒麟ビバレッジサービス株式会社



BP カストロール株式会社



株式会社プロモーション



マックメカニクスツールズ株式会社



丸和工業株式会社



Mechanix Wear LLC



株式会社 REIZ

第8戦 11月1日~2日
モビリティリゾートもてぎ